

## 「たぬき」と「すっぽん」に続いて、「てんぐ」やって来た！

### テングチョウ タテハチョウ科テングチョウ属

先日、学校の花壇にひらひらとオレンジ色の蝶々がやってきました。キタテハかつマグロヒョウモンのように見えたのですが、すし姿が違うようなので、観察をしてみると、やはり模様が違いました。

図鑑で調べてみると「テングチョウ」という種類で、タテハチョウの仲間で、タテハチョウ科テングチョウ亜科に分類され、この仲間は世界で10種類ほどと少なく、日本ではテングチョウ一種だけだそうです。

しかし、珍しくはなくて普通種だそうですので、きっと見かけていたのですが、タテハチョウと思い見過ごしていたのだと思います。

撮影した写真ではわかりにくいのですが、頭部の下唇髭（かしんしゅ）という部分が天狗の鼻のように長いのでこの名になったそうです。

冬は成虫のまま越冬して、春先から飛び回り、産卵をして、初夏に飛び回り、真夏ごろは休眠して、また9月頃から飛び回るそうです。

羽の裏側の模様は、タテハチョウと同じように、枯れ葉模様で、冬の越冬のさいに木の葉に紛れると目立たなくなります。

幼虫の食草（卵が産み付けられて、幼虫がエサとして食べる木葉や草）は、エノキなどの樹木です。



撮影：R6,6,18 学校の校庭花壇にて



昆虫エクスペローラーHPより

### ? 他に「てんぐ」と名の付く生物はあるかな？

テングチョウ（昆虫）以外にも”てんぐ”と名の付けられた生物は結構います。魚類ではテングダイなど、哺乳類ではテングザル、菌類ではテングダケなど、植物でもヤツデのことを別名テングノウチワといいますね。どんな生物なのか気になったら調べてみてね！ 名前は、天狗のどんなことに由来しているのかな？



ベニテングダケ

### ? 天狗とは妖怪なのか？

日本全国に天狗伝説や天狗信仰などがあります。ある地域では妖怪として恐れられたりもするし、別の地域では災いを防いでくれるとして祭られてもいます。東京都青梅市の御岳山には天狗が住んでいたという伝説があり、天狗の腰掛け杉や天狗岩、天狗ノ滝などの名所があります。八王子市の高尾山にも天狗伝説がありますね。御岳山にはムササビが住んでいますので、昔の人はそれを天狗と思ったのかもしれませんがね。高尾山と御岳山には、動植物などの自然を紹介してくれる「ビジターセンター」があります。近いので日帰りハイキングができますので、ぜひ行ってみてください。

